



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 松下 祐二
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日 配当支払開始予定日 平成29年11月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,739	9.7	16,010	15.5	17,525	14.9	12,938	18.8
29年3月期第2四半期	29,849	3.6	13,859	6.4	15,246	1.8	10,894	17.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 14,283百万円 (29.7%) 29年3月期第2四半期 11,013百万円 (4.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	145.45	
29年3月期第2四半期	122.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	210,121	187,559	89.3	2,108.58
29年3月期	200,061	177,500	88.7	1,995.50

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 187,559百万円 29年3月期 177,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		42.50		47.50	90.00
30年3月期		47.50			
30年3月期(予想)				47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	5.8	30,000	7.7	33,600	4.2	24,000	2.7	269.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	99,600,000 株	29年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	10,649,333 株	29年3月期	10,649,333 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	88,950,667 株	29年3月期2Q	88,950,682 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成29年4月25日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなかで景気は緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、米国・欧州の政治動向や北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学リスクも顕在しており、景気の先行きは未だ不透明な状況であります。

当情報サービス業界においては、システムの統合や更新需要の増加等により、企業のシステム投資は回復傾向が見られます。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、製販一体体制を継続し、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。高まりつつあるクラウドコンピューティングのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、システムサポート事業も安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高327億39百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益160億10百万円(同15.5%増)、経常利益は175億25百万円(同14.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129億38百万円(同18.8%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。一方で、ハードウェアの売上高は減少いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、175億68百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は85億58百万円(同12.6%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」および「クラウドソリューション」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、112億74百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は68億86百万円(同19.5%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

主力の業務用パッケージソフトの販売が好調に伸長したことに加え、印刷サプライやオフィス用品、オフィス家具の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は、38億96百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は5億66百万円(同14.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,012億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ、31億3百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、116億21百万円であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が179億61百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が7億14百万円計上された一方で、持分法による投資利益が12億83百万円計上されたこと及び法人税等の支払が47億64百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、42億93百万円であります。これは主に有形固定資産の取得による支出が48億26百万円計上されたこと及び償却債権の回収による収入が4億36百万円計上されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、42億25百万円であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第2四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、平成29年4月25日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,121	101,224
受取手形及び売掛金	9,520	9,638
商品及び製品	158	84
仕掛品	507	469
原材料及び貯蔵品	6	27
その他	1,761	1,977
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	110,074	113,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,022	2,969
土地	27,220	27,620
その他(純額)	1,017	5,275
有形固定資産合計	31,259	35,865
無形固定資産		
その他	78	68
無形固定資産合計	78	68
投資その他の資産		
投資有価証券	55,263	58,072
その他	3,389	2,697
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	58,649	60,765
固定資産合計	89,987	96,700
資産合計	200,061	210,121

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,656	3,175
未払法人税等	5,217	5,381
賞与引当金	2,372	2,372
その他	4,320	4,559
流動負債合計	15,566	15,488
固定負債		
役員退職慰労引当金	893	815
退職給付に係る負債	5,908	5,952
資産除去債務	146	147
その他	45	156
固定負債合計	6,993	7,072
負債合計	22,560	22,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	157,260	165,973
自己株式	△22,137	△22,137
株主資本合計	173,831	182,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,373	6,720
土地再評価差額金	△1,705	△1,705
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	3,669	5,015
純資産合計	177,500	187,559
負債純資産合計	200,061	210,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,849	32,739
売上原価	10,173	10,758
売上総利益	19,675	21,980
販売費及び一般管理費	5,816	5,969
営業利益	13,859	16,010
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	218	228
投資有価証券売却益	0	—
持分法による投資利益	1,157	1,283
受取賃貸料	24	0
その他	41	56
営業外収益合計	1,444	1,571
営業外費用		
賃貸費用	55	55
その他	1	1
営業外費用合計	57	56
経常利益	15,246	17,525
特別利益		
固定資産売却益	—	0
償却債権取立益	—	436
特別利益合計	—	436
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
会員権売却損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	15,246	17,961
法人税、住民税及び事業税	4,358	5,056
法人税等調整額	△6	△33
法人税等合計	4,351	5,023
四半期純利益	10,894	12,938
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,894	12,938

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	10,894	12,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	1,503
退職給付に係る調整額	95	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△179	△158
その他の包括利益合計	119	1,345
四半期包括利益	11,013	14,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,013	14,283
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,246	17,961
減価償却費	189	230
持分法による投資損益(△は益)	△1,157	△1,283
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
償却債権取立益	—	△436
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	37	△77
賞与引当金の増減額(△は減少)	△114	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△67
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	266	45
受取利息及び受取配当金	△219	△230
固定資産売却損益(△は益)	0	△0
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△906	△118
たな卸資産の増減額(△は増加)	△160	89
仕入債務の増減額(△は減少)	147	△480
その他	△462	36
小計	12,807	15,671
利息及び配当金の受取額	702	714
法人税等の支払額	△4,461	△4,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,047	11,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△237	△4,826
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△5	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	1	—
償却債権の回収による収入	—	436
その他	0	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△241	△4,293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△4,225	△4,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,225	△4,225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,580	3,103
現金及び現金同等物の期首残高	82,502	98,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,082	101,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
システムインテグレーション事業	16,556	55.5	17,568	53.7	1,012
システムサポート事業	9,863	33.0	11,274	34.4	1,410
オフィスオートメーション事業	3,429	11.5	3,896	11.9	466
合計	29,849	100.0	32,739	100.0	2,889

②受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	16,907	15,853	11,891	8,830	△5,016	△7,022
システムサポート事業	10,825	20,802	13,016	23,478	2,190	2,676
オフィスオートメーション事業	3,520	681	3,871	652	351	△28
合計	31,253	37,337	28,779	32,962	△2,474	△4,374

以上